

授業科目名・形態	介護の基本Ⅱ	講義	必修・選択の別		選択
担当者氏名	工藤 久	開講期	1年後期	単位数	2

【授業の主題】

介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。また、日本における介護の成り立ちなどを概観しながら、自立に向けた介護とは、介護サービスとは何かについて考察する授業内容とする。

【到達目標】

- 1) なぜ介護が必要になってきたか、介護の概念について理解する。
- 2) 介護業務を行うにあたって、利用者の主体性や自立の重要性を理解する。
- 3) 介護の専門性について考え、専門職に求められるものは何か理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護とは（介護の成り立ち）
- 第2回 日本における介護の成り立ち（施設での介護）
- 第3回 日本における介護の成り立ち（在宅での介護）
- 第4回 介護の概念・定義
- 第5回 介護の見方・考え方の変化①
- 第6回 介護の見方・考え方の変化②
- 第7回 介護問題の背景
- 第8回 生活支援としての介護とは（介護の専門性①）
- 第9回 生活支援としての介護とは（介護の専門性②）
- 第10回 利用者に合わせた生活支援（個別ケア）
- 第11回 利用者に合わせた生活支援（個別性の多様化）
- 第12回 「自立」と「自律」に向けた支援
- 第13回 介護サービスのあり方
- 第14回 自らの「介護観」を育むことの重要性
- 第15回 介護の仕事の本質的価値

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術

【教科書等】

介護の基本Ⅰ（新・介護福祉士養成講座3 中央法規）

【参考文献】

- ・黒澤貞夫，人間科学的な生活支援論，ミネルヴァ書房

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、平常点 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

「介護とは」という問題意識をもって臨んでいただきたい。予習復習をしてください。